

Epistula

大分県立芸術文化短期大学広報誌 エピストウラ

EPISTULA: 古典ラテン語で“手紙”という意味です。
 広報室からみなさまへ、芸文短大の“いま”を伝えるお手紙をお届けします。

Epistula
 OITA PREFECTURAL COLLEGE OF ARTS AND CULTURE
 Public Relations Magazine



表紙モデル/TOS テレビ大分で放送局研修

Vol.73
 2023.WINTER

大分県立芸術文化短期大学広報誌「EPISTULA」2023年12月8日発行 通巻73号
 大分県立芸術文化短期大学 〒870-0833 大分市上野丘東1番11号 TEL 0975450542 代表 FAX 0975450543

特集

● 芸短フェスタ 2023 イベント報告



EVENT CALENDAR

2023 12 Dec >>> 2024 3 Mar イベントカレンダー

12月 December	9日(土) 23日(土) 23日(土)	「多文化理解論」特別公開イベント『第3回ミニアメリカ映画祭』 冬期休業開始 オペラサークル Opera Piene di Vita 第33回公演 オペラガラコンサート
1月 January	10日(水)~19日(金) 21日(日)~2月4日(日) 29日(月)・30日(火) 30日(火)~2月4日(日) 31日(水)・2月1日(木)	進級制作展～美術科美術専攻1年次生&専攻科造形専攻美術コース1年次生 作品展～ So Graphics 2024 卒業研究発表(国際) 第62回 美術科 卒業・修了制作展 卒業研究発表(情コミ)
2月 February	2日(金) 24日(土)	音楽科コンサートシリーズ No.122 声楽コース演奏会～声の響宴～ オーボエ専攻科生による演奏会 Vol.4
3月 March	3日(日) 10日(日) 17日(日) 18日(月) 19日(火)	清水万敬退官コンサート パーカッショングループミレニアムコンサート25thコンサート 第62回卒業演奏会 第40回修了演奏会 卒業・修了式

※各イベントは変更になる場合があります

選抜情報

詳しくは『令和6年度学生募集要項』または大学ホームページ内『入試案内』をご覧ください

一般選抜(A日程)

● 本学独自試験 ※全学科で実施
 出願期間 令和6年1月9日(火)～1月26日(金)
 試験日 <美術科・音楽科>
 令和6年2月8日(木)・2月9日(金)
 <国際総合学科・情報コミュニケーション学科>
 令和6年2月8日(木)
 合格発表 令和6年2月20日(火) 14時(予定)
 ● 大学入学共通テスト利用 ※音楽科、国際総合学科、情報コミュニケーション学科で実施
 出願期間 令和6年1月9日(火)～1月26日(金)
 試験日 大学入学共通テスト実施日
 令和6年1月13日(土)・1月14日(日)
 ※音楽科は令和6年2月8日(木)・2月9日(金)に音楽基礎科目と実技試験を実施
 合格発表 令和6年2月20日(火) 14時(予定)

一般選抜(B日程)

● 本学独自試験 ※美術科、国際総合学科で実施
 出願期間 令和6年2月26日(月)～3月8日(金)
 試験日 令和6年3月14日(木)
 合格発表 令和6年3月18日(月) 14時(予定)
 ● 大学入学共通テスト利用
 ※国際総合学科、情報コミュニケーション学科で実施
 出願期間 令和6年2月26日(月)～3月8日(金)
 ※消印有効
 試験日 大学入学共通テスト実施日
 合格発表 令和6年3月18日(月) 14時(予定)



芸文短大 検索 <https://www.oita-pjc.ac.jp>

大分県立芸術文化短期大学の公式 SNS では、本学が主催するイベント・展覧会等のお知らせをはじめ、キャンパス内の様子や学生たちが行うさまざまな活動について報告しています。また、学科や研究室のほか、サークル、イベント等でも SNS を立ち上げています。

○大分県立芸術文化短期大学

大分県立芸術文化短期大学

Facebook Instagram X(旧 Twitter) YouTube

○美術科

芸短 美術科

Facebook Instagram X(旧 Twitter)

○国際総合学科

芸短 国際総合

Facebook Instagram X(旧 Twitter)

○音楽科

芸短 音楽科

Facebook Instagram X(旧 Twitter)

○情報コミュニケーション学科

芸短 情コミュ

Facebook Instagram X(旧 Twitter)

健やかな子どもを育てる ワークショップ

音楽ホールを舞台に学生・教員が創作した音楽を他のコース学生等と合同で発表するコンサートを開催。普段とは違う学生と教員の個性が光る曲の数々を披露しました。



ピアノ コース 演奏会

短大と専攻科1年によるピアノ・ソロと、専攻科2年生による2台ピアノのアンサンブルの2部構成で、様々な曲目を披露しました。



《アートマネジメントプログラム》 融合！アツチ？ fusion 展

アートマネジメントプログラムによる学生企画。テーマをもとに集まった小規模の展覧会を、大きな一つの展覧会として開催し、学科間を超え多彩な作品が並びました。



《アートマネジメントプログラム》 芸文短大ワークショップ& コンサートフェスティバル 2023

アートマネジメントプログラムによる学生企画。子どもたちのためのワークショップやコンサートなど、5つのイベントを学内各所で開催し、たくさんの親子に楽しんでいただきました。



芸短フェスタ 2023 今後のイベント

詳細は本学HPをご覧ください！



■「多文化理解論」特別公開イベント第3回
『ミニアメリカ映画祭』
12月9日(土) 本学 人文棟 視聴覚室

■オペラサークル Opera Piena di Vita
第33回公演 オペラガラコンサート
12月23日(土) 本学 音楽ホール棟 音楽ホール

■進級制作展～美術科美術専攻1年次生&
専攻科造形専攻美術コース1年次生 作品展～
1月10日(水)～19日(金) 本学 芸短ギャラリー

■So Graphics 2024
1月21日(土)～2月4日(日) 大分市美術館



■音楽科コンサートシリーズ No.122
声楽コース演奏会 ～声の響宴～
2月2日(金)開催 J:COMホルトホール大分 大ホール

■オーボエ専攻科生による演奏会 Vol.4
2月24日(土)開催 18:00開場/18:30開演
日本福音ルーテル大分教会

■清水万敬退官コンサート
3月3日(日)開催 本学 音楽ホール棟 音楽ホール

■パーカッショングループミレニアム25th コンサート
3月10日(日)開催 コンパルホール 1階 文化ホール

■第62回卒業演奏会、第40回修了演奏会
3月17日(日)、3月18日(日)開催
本学 音楽ホール棟 音楽ホール

芸

短フェスタ2023イベント報告

今年18回目を迎える「芸短フェスタ」も、折り返しにさしかかっています。新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、3年ぶりに対面での開催が実現したイベントもあり、多くの方にご来場・ご参加いただいております。本誌では、これまでのイベントの様子を振り返ります。(11月中旬まで)

一文人形ワークショップ

柘原八幡宮・仮宮で大分郷土玩具「一文人形」絵付けワークショップを開催しました。

参加者はスタンダードなものからオリジナルティ溢れるものまで様々な人形を仕上げました。当日参加可能な輪投げも行われ、浜の市に訪れた参拝者が楽しみました。



若さあふれるコンサート

音楽科・専攻科音楽専攻の前期実技試験成績優秀者を、声楽・ピアノ・管弦打の各コースから選抜し、16名の学生が、独唱・独奏曲による演奏を披露しました。



第59回定期演奏会 福岡特別演奏会

音楽科・専攻科音楽専攻全学生と全教員、卒業生らが出演者およびスタッフとして総力を挙げて取り組む音楽科最大のイベント。今年はアクロス福岡 福岡シンフォニーホールでの開催となり、多くの方々にご来場いただきました。



芸短祭

今年も学生による多彩な催しを開催。各サークルによる発表やスペシャルゲストによるライブなど、大いに盛り上がりました。

05 「キャリアデザイン」でサイボウズの永岡恵美子さんによる講演を行いました

10月25日(水)、「キャリアデザイン」の授業ではサイボウズの永岡恵美子氏をお招きし、「自分のあり方・自分軸の見つけ方」というテーマでお話を伺いました。100人いれば100通りの働き方が必要と考える同社において、多様な働き方を実現するための人事制度や情報ツール、企業風土などの重要性を学ぶことができる貴重な機会となりました。また、自分のあり方を整えてから行動し、人を応援しながら学びを深めるといふ考え方に對し、学生からは数多くの共感の聲が寄せられました。



04 第59回音楽科定期演奏会「福岡特別演奏会」を開催しました

10月9日(月・祝)、福岡シンフォニーホールにおいて、音楽科定期演奏会「福岡特別演奏会」を開催しました。この定期演奏会は、昭和39年に別府国際観光会館ホールで開催された「第1回演奏会」から今年で59回目となるもので、本学の音楽科・専攻科音楽専攻全学生と全教員に加えて、卒業生有志も出演者およびスタッフとして総力を挙げて取り組んでいます。今年度は iichiko グランシアタ改修工事のため、初の県外公演となり、福岡県内外の多くの方にご来場いただきました。観客の皆さまはパンフレットに記載された曲目解説を手に、曲が紡ぎだす情景を思い浮かべながら演奏を楽しんでいました。



06 TOS テレビ大分編集部による授業を開催しました



10月19日、TOSテレビ大分の編集部から2名が来学され「広報・宣伝論」で授業を行っていただきました。阿部洋樹編集部長は「テレビコママーシャルの販売方法」、藤田ひかるさんは「新入社員が教えるテレビ局の広報」をテーマに展開。今年の4月に入社した藤田さんは、ぬいぐるみの中に入っているイベントに参加した経験などを笑顔で話し、参加した学生約40人はその奮闘ぶりに固唾を飲んで聞き入っていました。

竹田キャンパス通信

竹田キャンパスは、ゼミやサークルでの合宿、創作活動の拠点として竹田市に2010年4月にオープンした、芸文短大と地域との交流の場です

私が幼少期の冬場、祖父父母宅へ行くと必ず祖母が「ここは田舎で寒いから」と半纏を出してくれました。(最近まで五右衛門風呂だったような田舎です)そこで半纏の暖かさを体験してからは実家でも冬場の必須アイテムとなり、現在も愛用しております。

半纏を着ているとよく皆に「ちゃんちゃんこ」と言われますが、「ちゃんちゃんこ」には袖はありません。別物です!!(笑)

ここ竹田キャンパスの冬場も大分市に比べると冷え込みます。そんな時は半纏を用意しておりますのでご自由に使ってください。

非常勤講師 大学OB 前田亮二



02 専攻科学生が「第8回石本正日本画大賞展」にて特別賞を受賞しました

公益財団法人浜田市教育文化振興事業団、芸術と文化のまちづくり事業実行委員会、中国新聞社主催「第8回石本正日本画大賞展」にて、本学専攻科造形専攻(日本画分野)1年福留亜未さんが出品した作品「まどろみ」が特別賞「浜田芸術文化のまちづくり推進協会賞」を受賞しました。受賞した福留さんは「暖かな日差しが降り注ぎ、お昼寝をしたくなるような、そんな晴れた日の心地よい陽気を表現しました。」と話しています。作品は9月9日(土)〜11月23日(祝)まで『島根県 浜田市立石正美術館』にて展示されました。



※「まどろみ」作品画像

01 駐アイルランド大使丸山則夫氏による特別講義を開催しました



9月21日(木)、駐アイルランド日本国特命全権大使丸山則夫氏が本学を訪問し、学長企画「食と外交(ワインと和食と欧州・アフリカ)」と題してご講演いただきました。丸山大使は「海外では、独りでも相手から日本の代表として見られることになる」と話し、相手の文化を知ったうえで配慮したおもてなし、よく好まれる日本の食べ物や嗜好品についてを惜しみなくご教示くださいました。学生は実体験からの貴重なお話に興味深く聞き入り、質疑応答ではより講義内容に踏み込んだ質問がありました。

03 日本テレビ 宣伝部 関口憲司氏・日本テレビアートデザイン開発部 津島美樹氏による特別講義が行われました

日本テレビ放送網株式会社宣伝部デザイン室アートディレクター 関口憲司氏と、株式会社日本テレビアートデザイン開発部デザイナー 津島美樹氏によるオンライン特別講義が、それぞれ3月7日(火)と8月7日(月)にVDコース幸島ゼミ主催で行われました。3月7日(火)は日本テレビ宣伝部のアートディレクター 関口憲司氏によるご講義で、VD短大1年生と専攻科1年生が参加しました。入社してから現在までのお仕事の実績をデザイン制作上のポイントを交えながらのお話しをしていただき、さらに実際の仕事の流れなども詳細に話していただきました。また講義後には専攻科1年生が授業課題として取り組んだ「映画宣伝デザイン」等の作品をプレゼンテーションし、世の中に掲出された時を想定したより実践的な作品講評をしていただきました。8月7日(月)は日本テレビアートデザイン開発部デザイナー 津島美樹氏によるご講義で、VD短大1・2年生と専攻科1年生が参加し、グラフィック・広告デザイン、映像やキャラクターデザインなど多岐にわたる分野のお仕事についてその制作過程からお話ししていただきました。また講義後には専攻科1年生と短大1年生が授業課題として取り組んだ「日本テレビグループデザイン会社日本テレビアートに対して行う企画提案」をプレゼンテーションし、その講評をしていただきました。

株式会社 日本テレビアート 2023 8/7 講師 津島美樹氏 コンテンツデザインセンター デザイン開発部 デザイナー

日本テレビ 放送網株式会社 2023 3/7 講師 関口憲司氏 宣伝部 デザイン室 アートディレクター

学内ギャラリー作品介绍

「レプリミニッツ」<7月13日~7月23日>
美術科 デザイン専攻 グラフィックアートコース

「彫刻分野作品展示」<10月16日~10月19日>
彫刻分野 美術科/専攻科/卒業生/教員

日々是精進

専攻科

- 第36回九州山口ジュニアピアノコンクール大学の部
 - 最優秀賞 専攻科1年 森本 さくら
 - 優秀賞 専攻科1年 堀部 愛美
- 第21回ヴェルデ音楽コンクール 福岡本選
 - ピアノ部門 大学・一般の部
 - 金賞 及び総合第2位ヴェルデプリスティージュ (第1位該当なし) 専攻科2年 橋本 阜
 - 銀賞 専攻科1年 堀部 愛美
- 第51回 大分県音楽コンクール
 - ピアノ部門 大学生の部
 - 第3位 専攻科1年 森本 さくら
- 第3回 国際音楽コンクール東京 予選 熊本大会
 - 優秀賞及び同コンクール
 - 準本選 西日本大会 金賞 専攻科2年 塚元 由菜
- 第51回 大分県音楽コンクール
 - 音楽部門 第1位 大学の部 専攻科2年 塚元 由菜
- 第61回北九州芸術祭クラシックコンクール
 - 大賞 専攻科2年フルート 上ノ瀬 結夏
 - 部門賞 専攻科1年フルート 西岡 あゆな
 - 優秀賞 専攻科2年フルート 津田 さやか

音楽科

- 第16回音の夢コンクール 全国大会
 - 課題曲コース 大学生 / 一般の部
 - 努力賞 短大1年ピアノコース 志賀 春美
 - 自由曲コース フリー部門
 - 努力賞 短大1年ピアノコース 松本 明衣
- 第36回九州山口ジュニアピアノコンクール大学の部
 - 最優秀賞 短大2年ピアノコース 津田 春花
 - 短大2年ピアノコース 與那嶺 杏
 - 優秀賞 短大2年ピアノコース 岡 友萌音
 - 短大1年ピアノコース 福井 綾乃
- 第21回ヴェルデ音楽コンクール 福岡本選
 - ピアノ部門 大学・一般の部
 - 銅賞 短大1年ピアノコース 志賀 春美
- 第51回 大分県音楽コンクール
 - 管打楽器部門 金管 大学・一般の部
 - 第1位 短大1年管弦打コース 宮崎 理子
 - 第3位 短大2年管弦打コース 古海 渚
- 第24回大阪国際音楽コンクール
 - 音楽部門 Age-U入選 短大2年音楽コース 西尾 采子
- 第61回北九州芸術祭クラシックコンクール
 - 審査委員特別賞 短大2年クラリネット 西田 花乃
 - 奨励賞 短大2年トランペット 橋詰 凜音

サービスラーニング情報



ハロウィンイベントを開催しました

10月28日(土)に、大分市にある府内五番街商店街において、サービスラーニングの一環としてハロウィンイベントを開催しました。この活動は大分市府内五番街商店街組合と共同で実施したもので、延べ65名の学生が参加しました。準備には前期からとりかかり、何度も会議を積み重ね、今回の開催に至りました。当日は、輪投げ、射的、ヨーヨー釣り、フェイスシール、フォトスポットなどが商店街に設けられ、非常に多くの方々に来場を頂きました。また夕方からはキャンドルナイトとして大分市内の園児に書いてもらった絵を照し、沢山の方々に見に来て頂きました。

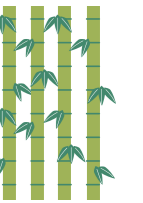
今回の活動を通じて、商店街活性化を支援するとともに、市民の方々との交流を通じて高いコミュニケーション力を身に付けることができました。

10月15日(日)、竹田市において竹灯籠作成支援・たけた城下町まちめぐり手形情報発信活動を実施し、26名の学生が参加しました。

竹田市の一大風物詩「竹楽」の準備段階を支援する目的で、竹灯籠の作成等を行いました。異なる高さの竹を組み合わせて結束する作業を担ったほか、竹を使った商品開発について学生の視点からアイデアを発表する機会もいただきました。また、竹田市内で取り組まれている「たけた城下町まちめぐり手形」を使って市内の店舗を回り、デザートや雑貨などを購入・試食して、取材を行い、インスタグラムから情報発信しました。



竹灯籠作成支援・まちめぐり手形情報発信活動を実施しました



学長「コラム」

「生きる喜び」

続・冷戦終結の思い出

チェコ人の親友がチェコからワシントンに帰るとチェコ大使館に呼ばれ、チェコ政府に財政金融の仕組みを説明してほしいと依頼されました。新政府では彼の親友が副首相になっていました。プラハの夕食会で出会った政府の情報担当者は、「6か月前にワシントンに出張した際、君の名前は要注意人物の筆頭だったので会えなかった」と言っていました。講義が終わりに「故郷の母に会いたい」とお願いしたら、大統領の車で送ってくれました。

彼は国に戻って働くべきか悩んでいたので、私は「絶対帰国して国のために尽くすべきだ。」と助言しました。数年後、WTOの交渉官として私はジュネーブを訪れ、ある朝ホテルの地下1階の朝食会場に降りていくと、エレベーターの前に彼が立っていました。彼の肩書は、「大蔵大臣顧問、経済大臣顧問、中央銀行総裁顧問」で、チェコの交渉団の団長でした。

数年後に再会すると、彼はチェコ政府の役人を辞め、WTOの職員になっており、チェコ人の女性と再婚していました。冷戦終了後のチェコ経済の急成長で家賃が暴騰し、役人の給料では生活が難しくなってきたからです。図らずも、日本で公務員宿舎に公務員を住まわせた理由が分かることになりました。



似顔絵：学長秘書首藤尚子